

企画部会（平成23年度第5回）

議事録（案）

2012年1月10日（火）開催

| | | | | | |
|--------|-------------|--------|----------|--------|--|
| 時間 | 15:00～17:15 | 場所 | 地盤工学会会議室 | | |
| 天野部長 | | 峯田理事 | | 谷オブザーバ | |
| 浅田部員 | | 杉本部員 | | 鈴木部員 | |
| 高橋部員 | | 濱田部員 | | 山田部員 | |
| 事務局：戸塚 | | 事務局：松本 | × | 事務局：長尾 | |

：出席 ×：欠席 ：未定

【議題】

議事録担当者の選出 山田 部員

1. 前回議事録の確認（説明：杉本部員）

【別紙 1】pp.1-2

【別紙 1】pp.1-2(当日版)

- ・ 前回議事録案が承認された。
- ・ 議事録確認の際のコメントは次の通り。
 - 次回以降も中長期ビジョンに関しては次表を用いて進捗を確認する。

| | 理事会 | 企画部 | 各部 |
|----|-----|-----------------------------|-----------|
| 1月 | ← | 各部へ発信 発信したことを報告 | 進捗アンケート記入 |
| 2月 | | 部員ごとに担当を決める | 2月上旬までに返信 |
| 3月 | | 1週目までに取りまとめ 中旬に各部と内容調整 | 内容調整 |
| 4月 | | 1週目までに文案作成 4月中に企画部内で内容調整 | |
| 5月 | ← | 理事会へ報告 | |

- 災害調査関連：1次提言の販売促進に関して、2次提言の刊行が近々予定されており、時期的に難しいことから、学会誌への1次提言の概要掲載は参考意見に留め、今回は行わないこととする。
- 委員会評価・規定：レビューシートの取り纏め結果を理事会に報告済み。同時に、各部に配布済み。総務部からは来年度予算立案に参考にさせてもらうといった意見有り。その他の部からは特に意見なし。評価規定（案）の取扱いについては、A4用紙1枚程度で、現在の企画部内意見を取り纏めておく（担当：峯田理事）。

2. H23/11/30 正副会長会議および H23/12/22 理事会（書面会議）の報告（説明：天野部長）

【別紙 2】pp.3-11

【別紙 2】pp.3-16(当日版)

3. 中長期ビジョン（峯田理事，説明：鈴木部員）

【別紙 3】pp.13-21

【別紙 3】pp.17-25(当日版)

- ・ 11/17 打合せ資料からの変更内容
 - ・ 依頼状にアクションプランに関する意見欄を追加
 - ・ 実施状況表の記入欄の担当部に副担当部を 印で追記
 - ・ 実施状況表の記入欄に係る委員会名称の欄を追加
- ・ 副担当部は、アクションプランを出している部に限定し、主担当部（表中， 印）と副担当部（表中， 印）に回答を依頼する。
- ・ 中長期ビジョン作成当初に計画されていない内容（現在のアクションプラン実施状況表に記

されていない内容)でも、その後、追加実施している内容については、適時、項目を追加するなどして、その内容を記入してもらえるように、依頼状の文面を修正する。

- ・ 役割分担とスケジュールは次の通りとする。
 - 担当部
 - 天野部長：全体統括
 - 峯田理事：総務部
 - 谷オブザーバ：基準部
 - 浅田部員：企画部
 - 杉本部員：会員・支部
 - 鈴木部員：国際部
 - 高橋部員：会誌部
 - 濱田部員：調査・研究部
 - 山田部員：事業部
 - 部会長の連絡先は、長尾様より部員に連絡いただく。
 - 各部への発信：長尾様（1月中旬）
 - アンケート回収：長尾様（2/20を回答期限とする）
 - 回収したアンケートの記載内容の概略確認：鈴木部員，長尾様
 - 企画部担当者への回答済みアンケートの配布：長尾様
 - 各部毎に進捗状況に関する取り纏めメモの作成：各部員
 - メモに基づく進捗状況の確認と審議（回答内容の過不足に関して、追加依頼内容の確認）：全員（次回部会：3月6日開催予定）
 - 理事会（3月16日開催予定）での追加依頼（追加依頼内容がある場合）：天野部長，峯田理事

【参考】

| | 理事会 | 企画部 | 各部 |
|----|-----|-----------------------------|----------------|
| 1月 | ← | 各部へ発信 → 発信したことを報告 | 進捗アンケート記入 |
| 2月 | | 部員ごとに担当を決める | ← 2月上旬までに返信 |
| 3月 | | 1週目までに取りまとめ 中旬に各部と内容調整 | ← → 内容調整 |
| 4月 | | 1週目までに文案作成 4月中に企画部内で内容調整 | |
| 5月 | ← | → 理事会へ報告 | |

4. 災害調査関連（説明：谷オブザーバ，鈴木部員） 当日配布資料
- ・ 活動の進捗について、谷オブザーバに報告いただいた。主な報告内容は以下の通り。
 - 二次提言の項目：一次提言の項目に、3項目（産業施設，シビアアクシデント対応，資格・教育・広報）を追加予定。
 - 寄贈先アンケート結果：一次提言が送付されなかったという回答も多い。
 - 今後のスケジュール：関係機関によるレビューの実施（3月15日），シンポジウムの開催（4月25日）
 - 二次提言の配布・販売方法：一次提言寄贈先には寄贈，要約版は無料配布，拡充版は有料販売
 - ・ 二次提言の配布・販売方法について，意見を求められた。企画部内からでた参考意見は次の通り。
 - 震災から1周年となる3月は，時期的に埋没してしまう可能性有り。マスコミに取り上げてもらえるように，わかり易い表現となるような工夫が必要では。例えば，挿絵の挿入など。土木学会誌の編集で協力してもらったイラストレータであれば紹介できる。（天野部長）
 - マスコミを入れたシンポジウムを開催すれば，マスコミに取り上げられやすく，関心も高ま

- る。(鈴木部員)
- 要約版は、できる限り限定的な範囲に留めないと、拡充版を購入してもらえない恐れがあるのでは。(天野部長，鈴木部員)
5. 資格・認証制度(説明：峯田理事並びに天野部長，濱田部員、高橋部員、山田部員)
- 【別紙 4】pp.23-25, 【別紙 5】pp.27-45
【別紙 4】pp.27-29, 【別紙 5】pp.31-50 (当日版)
- ・ 1/5 に開催された第 1 回「地盤品質判定士(仮称)」資格設立に関する検討会の報告
 - 日本建築学会，全国地質調査業協会連合会と意見交換．地盤品質判定士資格の設立に関して賛同を得た．両学会と今後も協働した検討を予定している．
 - 「地盤工學品質判定士」に求められる資質のうち，豪雨などの外的要因に対する見識を外す．
 - 国土交通省の審議官から，総論について賛意を得ているが，確実なものではない．地盤品質判定士資格の制度設計を具体的に進める必要がある．
 - ・ 今後の予定
 - 天野部長の意見：具体的な検討を行うために，委員会の設立が必要となる可能性がある．今後，推移を見守りながら調整する．
 - 2/1 に 2 回目の検討会を開催予定．企画部会からは，天野部長，峯田理事の他に，濱田部員と鈴木部員が参加する．
 - 2 回の検討会を経て，設立趣旨書(案)の作成が必要となる．
6. 企画部会の今後の活動について
- ・ 意見交換を実施した．主な意見は次の通り．
 - 企画部会は，学会全体の課題の検討や，全体を俯瞰した提言を行う役割を担っており，企画部会の活動に期待している．例えば，事業費が縮小する中で，会費の使い方や委員会評価の件について，もっと議論して欲しい。(戸塚事務局長)
 - 2004 年頃には，学会予算の実態を分析した結果をもとに，企画部内の議論が盛んだった．これら議論の結果は，最初の中長期ビジョンに反映されている．企画部内で議論する際には，学会の実状に関する情報を企画部会内で共有することが必要では。(谷オブザーバー)
 - 公益法人化に伴い他分野との融合や産官学の連携を掲げているが，これらの対応も未だ未着手であり，今後，議論が必要と考えている。(天野部会長)
 - ・ 意見交換を踏まえ，次回部会で再度議論することになった．
 - 中長期ビジョンや学会運営に係る資料を長尾様から提供いただき，学会の実情と抱えている課題について，企画部会内で認識の共有を図る．
 - その上で，企画部会の今後の活動内容について，次回部会で議論する．
7. 「学会提言の検証と評価に関する委員会」委員の追加および会務の変更
- ・ 委員追加： 桑野玲子氏(東京大学)、清木隆文氏(宇都宮大学)、アイダンオメル氏(東海大学)
 - ・ 谷 和夫 委員 幹事
8. 次回の開催日確認：3月6日(火)15:00～17:00
9. 次回理事会への提案事項
- ・ 審議事項：特になし
 - ・ 報告事項：「地盤品質判定士」の検討状況，中長期ビジョン実施状況調査依頼

以上